

# 2024年度 龍神LPP

## 地域塾による龍神村の資源を活かした山村活性化

岩田・鈴木・長野・宮下・岡田・落合



3年間龍神村で行ってきたLPP（Lゼミ）の活動は昨年度をもって、一区切りがつけました。プラン策定がゴールだった3年間で先輩たちから引き継いだ「地域塾構想」を実現したいという想いから今年度新たにL活として再始動することになりました。

L活の立ち上げにあたっては新たに龍神村の中で受入団体となってくれる地域の方々を見つける必要があります。私たちの考えている地域塾構想をお話させていただいた結果、村内各種団体の代表や30～40歳代中心の若手メンバーで構成される龍の里づくり委員会の皆さんが受入団体を引き受けてくださることになりました。

### 01. 昨年度までの活動

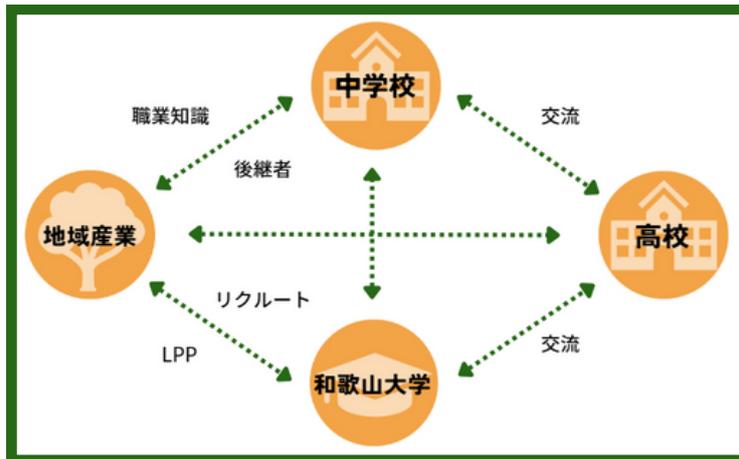
田辺市龍神村は古くから林業が盛んな地域であり地域の主要産業の1つとなっています。そのような地域に根差している産業を知るために私たちはまず森林組合や木材市場を訪問し林業の生産から販売の現場を見学しました。さらに、半農半林の生活を営む方に龍神での暮らしについてお聞きしたり、実際にチェーンソーを使って間伐体験を行ったりすることで龍神の暮らしの一部を体感しました。また、龍神中学校で中学生にヒアリングを行い、龍神で暮らす子供たちの林業や地域への意識を調査しました。

3年間の活動により森林が地域にもたらす恩恵を発見すると同時に、後継者不足や獣害などの林業を取り巻く問題も明らかになりました。私たちはこれらの問題を解決するには地域愛と相互理解を深めることが重要だと考え「地域塾構想」を地域の方々に提案させていただきました。

### 02. 地域塾構想とは？

地元の中学・高校と地域産業（林業）、和歌山大学が連携し、大人が地域の子どもたちに職業知識を教えるだけでなく、子供たちが大人に新たな視点やアイデアを与える「学び合い」の交流の場を地域に提案するとともに、龍神にとっての最適モデルを模索し、実施することを目指します。この取り組みを通して、龍神の豊富な森林資源や森林空間自体を子どもたちの教育の場として活用しながら、地域産業を学ぶ機会を創出することで将来的な地域への回帰や地域に対する誇りと愛着の醸成を目的としています。

私たちは、林業を通じた「学び合いの場」で、子どもたちにふるさとのことをもっと好きになってもらうきっかけを作りたいと考えています。



### 03. 翔龍祭への参加

2024年11月23・24日に開催された翔龍祭に運営側として参加させていただきました。「わがらの山のくらし」をテーマに、森林資源と触れ合うことができるお店やワークショップが立ち並びました。私たちは、組んで楽しむ木育ジャングルジムのコーナーで、参加者の子どもたちのお手伝いをする形で携わらせて頂きました。最初はスタッフや保護者の方の手を借りて杭を打っていた子どもたちが、どんだのめり込んでいく姿を見てやりがいを感じました。また、チェーンソーアートの実演や製材所ツアーにて見学させていただき、森林が龍神村の重要な資源であることを改めて実感するとともに、森林が地域の発展を支える偉大な力を有していることを認識しました。地域の皆さんともたくさん交流ができ、とても意義のある2日間となりました。ご協力くださった皆様、ありがとうございました。



### 04. 地域塾の実現に向けた今後の展望

地域塾の実現に向け、まずは龍神で行われている林業体験学習や地域教育の現状調査・ヒアリングを行う予定です。また、龍神地域だけでなく田辺市などの高校にも対象を広げて「参加したい」と思ってもらえるプログラム作りを目指しています。来年度の実施を目標に龍神地域の皆さんと話し合いながら、「次世代に残したい産業や地域の姿とは何か」深掘していきたいです。新メンバーの募集や取り組みに共感して下さる地域の方を増やしていけるようにInstagramを開設しました！活動の様子や地域塾構想について、今後も発信していくのでフォローといいねをお願いします。

\ Follow Us! /



@RYUJINLPP\_WAKAYAMA